

福島県立猪苗代支援学校教育活動後援会に関わる
趣意書

本校は、昭和53年に福島県立猪苗代養護学校として開校した知的障がいのある子どもたちのための特別支援学校です。今年で創立47年目になりました。

現在は、小学部9名、中学部13名、高等部19名合計41名が在籍し、猪苗代町、磐梯町、喜多方市等からの自宅通学生が約6割、県内外各地出身のばんだい荘入所生が約4割です。

学校教育目標は、「自ら学び、進んで学び行動する子」「認め合い、協力し合う子」「健康で、朗らかな子」とし、地域で共に学び共に生きる教育を推進し、児童生徒一人一人の夢の実現を目指した教育活動を実践しております。

また、地域において特別支援教育がさらに充実するよう、地域の学校や関係機関等と障がいのある子どもたちの生活や教育、就労等について一緒に考えたり、研修をしたり、専門的な機関としての役割を担っています。

本後援会は、福島県立猪苗代支援学校の教育活動について地域の皆様に、より知っていただくとともに、継続的な教育の振興と充実を図り、児童生徒一人一人の自立と社会参加を支援することを目的として、設立されました。

本後援会の主な事業内容といたしましては、児童生徒の教育の充実を図り、教育活動への支援や助成、特別支援教育の普及と啓発・研究や研修への助成、自立と社会参加のための支援と助成などを予定しています。このような後援により学校や地域の特別支援教育の充実を支えていくことが、様々な人々の能力が発揮される活力ある共生社会につながると考えております。

つきましては、多くの皆様に後援会の趣旨を御理解いただき、本会への御加入と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月吉日

福島県立猪苗代支援学校後援会会長 佐藤 弘一